

2024(R6)年度須賀川市一般廃棄物処理実施計画

1 目的

本市では、2014(H26)年3月にごみ処理にあたっての基本的な計画として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（1970(S45)年法律第37号）第6条第1項に基づき「須賀川市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。この基本計画をより具体的に施策・事業として実施するにあたり、2024(R6)年度の本市のごみ処理における必要な事項を廃棄物処理法施行規則（1971(S46)年厚生省令第35号）第1条の3及び須賀川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例（1979(S54)年条例第33号）第3条第1項に基づき、実施計画として定めます。

2 計画期間

計画期間は、2024(R6)年4月1日から2025(R7)年3月31日までとします。

3 計画区域

計画区域は、須賀川市全域とします。

4 廃棄物処理の基本方針

限られた資源を有効に活用し、持続可能な社会を形成するため「循環型社会」の構築が求められる21世紀の現代社会において、市民の生活環境の保全及び健康保持を図るにあたり、直面するごみ問題の解決が必要不可欠です。このため、下記の3つの柱を基本方針とし、市民、事業者、市（行政）がそれぞれの役割を明確にし、これら関係者が一体となって取り組むことによって、低炭素で循環型のまちづくりを推進します。

- (1) 排出抑制を最優先にした、ごみの減量化・再資源化の促進
- (2) ごみの適正処理の推進
- (3) 計画的な施設整備の推進

なお、この計画に基づき一般廃棄物処理業務を遂行するにあたっては、須賀川地方保健環境組合、組合を構成する鏡石町及び天栄村の両町村、組合構成市町村担当課長会議及び組合構成市町村担当者会議を通じて連携を図ります。

5 計画区域に係る一般廃棄物の処理状況及び発生見込

2023(R5)年度のごみ排出量については、全体的に減少傾向にあると見込んでいます。

家庭系ごみは、新型コロナウイルス感染症の影響により自粛していた経済活動が再開されたため、大幅な減少傾向にあると見込まれます。

区分		2021(R3) 年度実績(t)	2022(R4) 年度実績(t)	2023(R5) 年度見込(t)	R4-R5 年度増減(t)	R4-R5 対前年比
家庭系	可燃ごみ	17,299	17,185	15,937	△1,248	92.7%
	不燃ごみ	693	617	525	△92	85.1%
	小計	17,992	17,802	16,462	△1,340	92.5%
事業系	可燃ごみ	5,491	5,619	5,503	△116	97.9%
	不燃ごみ	11	15	8	△7	53.3%
	小計	5,502	5,634	5,511	△123	97.8%
資源物	ビン類	670	644	595	△49	92.4%
	金属類	502	473	425	△48	90.0%
	紙類	2,589	2,660	2,653	△7	99.7%
	ペットボトル	175	179	186	7	103.9%
	トレイ・パック	28	32	32	-	100.0%
	有機性廃棄物	39	42	100	58	238.1%
	小型家電	2	2	1	△1	50.0%
	小計	4,005	4,032	3,992	△40	99.0%
合計		27,499	27,468	25,965	△1,503	94.5%

6 一般廃棄物処理実施状況

(1) 市広報誌等による啓発

ごみの出し方のルールや、ごみ減量化等の支援制度（電動生ごみ処理機等設置奨励金・資源回収実施団体奨励金・ごみステーション施設設置事業費補助金等）を周知するとともに3R運動の大切さを知ってもらうため、市広報紙等を通じた啓発を実施しました。

(2) 環境教育の推進

(ア) ごみ処理施設見学会の開催

ごみ処理施設や最終処分場の見学を実施することで、分別収集後のごみや資源の処理過程を理解し、関心を深め、分別やリサイクルなどの行動につながるよう努めていきます。

2020(R2)年度から2022(R4)年度まで、新型コロナウイルス感染症の影響により施設見学会を休止していましたが、5類に移行した2023(R5)年5月に再開しました。

	2018(H30) 年度	2019(R1) 年度	2020(R2)~2022(R4) 年度	2023(R5)年度 (1月末現在)
小学校	18校 822名	18校 768名	休止	14校 548名
一般	4団体 63名	14団体 188名		2団体 9名

(イ) ESD環境教育におけるごみ出前講座の実施

環境教育の推進として2020(R2)年度から実施しているESD (Education for Sustainable Development) 環境教育推進事業の一環として、小学生を対象とした3Rの推進やごみ減量化などの講座を実施しました。

	2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2023(R5)年度 (1月末現在)
小学校	6校 337名	8校 453名	4校 229名	5校 233名
公民館	2回 36名	—	—	—

(3) 資源物の分別収集の推進

容器包装リサイクル法に基づき、分別回収や収集運搬効率などを踏まえ、ペットボトルや食品トレイ、パック類などを対象に分別収集し、再資源化に取り組んできたところです。

今後、プラスチック資源循環法に基づくプラスチック製品リサイクルについて、須賀川地方保健環境組合や、構成町村と連携を図りながら、処理能力や費用対効果などを踏まえ、分別収集及び再資源化について検討していきます。

(4) 学校給食残渣等の再生利用

資源の有効利用や脱焼却による地球温暖化防止に資するため、現在、すべての小中学校・施設で、給食残渣の堆肥化处理を行っており、今後も、教育委員会と連携しながら、給食残渣の資源化に努めます。

	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度 (1 月末現在)
給食残渣量	36.9 t	40.9 t	43.0 t	35.5 t

(5) 食品ロスの削減

2022 (R4) 年度より市主催のイベント開催時において、各家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてこども食堂などに寄贈する「フードドライブ事業」を実施しています。

<2022 (R4) 年度実績> 実施回数：3 回、総重量：188.6 kg

実施日	名称	重量	寄付人数
2022 (R4) 年 6 月 25 日	公募型セミナー	41.7kg	6 人
2022 (R4) 年 8 月 6 日	未来の農業フェア	19.1 kg	4 人
2023 (R5) 年 1 月 17 日～19 日	市役所職員向け	127.8 kg	53 人

<2023 (R5) 年度実績> 実施回数：5 回、総重量：215 kg (2024 (R6) 年 1 月末現在)

実施日	名称	重量	寄付人数
2023 (R5) 年 6 月 3 日	エコライフセミナー	6.2 kg	5 人
2023 (R5) 年 8 月 22 日～24 日	市役所職員向け	92.3 kg	51 人
2023 (R5) 年 9 月 16 日～17 日	みらいの農業フェア&いわせマルシェ	24.3 kg	10 人
2023 (R5) 年 10 月 20 日	すかがわ商工フェスタ	25.3 kg	12 人
2024 (R6) 年 1 月 16 日～18 日	市役所職員向け	66.9 kg	33 人

今後も引き続き、フードドライブ事業や ESD 環境教育などを通じて、市民の食品ロス削減に向けた意識の向上を図るとともに、事業者に対しても食品ロス削減に向けた取り組みを促すなど、更なる食品ロスの削減に努めます。

(6) 電動生ごみ処理機等設置奨励金制度の活用促進

生ごみの自家処理を推進するため、市広報紙や回覧などにより、「電動生ごみ処理機等設置奨励金」を周知していきます。

	補助率	限度額
電動生ごみ処理機	購入費の1/2助成	20,000円
生ごみ処理容器		3,000円

	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度 (1 月末現在)
電動生ごみ処理機	16台	11台	13台	13台
生ごみ処理容器	29基	24基	31基	18基

(7) 生ごみ減量化推進モデル事業の実施

生ごみの減量化を推進するため、2023 (R5) 年度に「生ごみ減量化推進モデル事業」を実施しました。検証結果を基に、生ごみ減量に対する意識の醸成や「電動生ごみ処理機等設置奨励金制度」の更なる普及啓発を図ります。

<生ごみ減量化推進モデル事業>

- ・対象：市内在住 5 世帯（須賀川市食生活改善推進員会より推薦）
- ・期間：2023 (R5) 年 8 月 1 日から 2024 (R6) 年 1 月 31 日まで
- ・内容：市が貸与した電動生ごみ処理機を使用し、家庭から出た生ごみ（野菜くず等）の減量化を試験的に実施。処理前後の重量を計測し、各世帯における生ごみ削減量を 2 回（11 月・2 月）に分けて報告。
- ・結果：

	8～10 月	11～1 月	合計	平均（月）
生ごみ量（処理前）	159,298g	121,775g	281,073g	46,846g
生ごみ量（処理後）	25,572g	22,260g	47,832g	7,972g
削減量	△133,726g	△99,515g	△233,241g	△38,874g
削減率	83.95%	81.72%	82.98%	82.98%
一世帯当たりの削減量	△26,745g	△19,903g	△46,648g	△7,775g

(8) 資源回収実施団体奨励金及び助成金交付制度の利用促進

資源回収活動を実施する地域団体（町内会、子供育成会、PTA等）に奨励金を、また、紙類の資源回収業者に助成金を交付しています。リサイクルとごみ減量の観点から、積極的にこの制度の周知に努め、利用促進をしています。

- ・資源回収品目：金属類、紙類、布類、びん類
- ・奨励金：資源回収量5円/kg 助成金：紙類回収量1円/kg

	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度 (1 月末現在)
回収団体数	59団体	58団体	55団体	53団体
回収業者数	7業者	8業者	8業者	7業者
回収量	431 t	413 t	445 t	276 t
交付金額	2,466,200円	2,341,200円	2,539,700円	1,480,500円

(9) ごみステーション施設設置事業費補助金制度の利用促進

市内の景観保全とごみの飛散防止を図り、公衆衛生の向上ときれいなまちづくりを推進するため、ごみステーションの設置とカラスよけネットを購入する町内会・区に対して補助金を交付しています。

	補助率	限度額
ごみステーション設置費	購入費全額助成	50,000円
カラスよけネット購入費		6,000円

	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度 (1 月末現在)
ごみステーション 設置事業補助	6基	4基	9基	5基
カラスよけネット 購入費補助金	25 基	15 基	24 基	28 基

(10) 分別促進看板の設置

市内の景観保全とごみの飛散防止を図り、公衆衛生の向上ときれいなまちづくりを推進するため、町内会・区、地区の環境推進員と連携のうえ、正しいごみの出し方と利用方法の啓発を促す啓発看板を配布及び設置しました。

	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度 (1 月末現在)
ごみ出しルール	8 枚	5 枚	7 枚	5 枚
ポイ捨て、不法投棄	100 枚	84 枚	117 枚	115 枚

(11) ごみ収集カレンダー等の配布

市民の分別排出を促進するため、地区ごとの収集品目、排出方法及び収集日を表示したカレンダー（英語やポルトガル語などの外国語表記カレンダーを含む）を配布しています。なお、配布については、町内会・区の見板によるほか、アパート・マンションの管理会社へも配布依頼を行うなどして、周知徹底に努めました。

(12) 市公式LINE新機能追加に伴う取り組み

2023 (R5) 年10月から、市公式LINEに新しい機能として「粗大ごみの申込」が出来るようになりました。市公式LINEを友だち追加すると、メニュー内から申込みが出来るほか、「ごみのAI分別回答」や「ごみステーション検索」が出来ます。

これに伴い、2024 (R6) 年3月末で「すかがわごみ分別アプリ」のサービスを終了します。なお、「福島県環境アプリ」でも出し忘れ防止機能やごみ分別辞典の利用が出来ますので、広く周知していきます。

	2023 (R5) 年 10月	2023 (R5) 年 11月	2023 (R5) 年 12月	2024 (R6) 年 1月
LINEによる粗大 ごみ申込件数	129件	70件	66件	86件
粗大ごみ申込 総件数	641件	787件	577件	525件

(13) 事業系一般廃棄物の減量化促進について

須賀川地方衛生センターと共同で、一般廃棄物収集運搬許可業者を対象とした研修会や搬入ごみの組成調査を実施することにより、ごみの適正処理を推進するとともに、排出者である事業者に対しては、ごみの減量化や適正排出について周知しています。

(14) 環境推進員の設置

市内の町内会・行政区ごとに「須賀川市環境推進員」を委嘱し、地域のごみステーションのごみ分別やリサイクルの普及啓発に努めてもらうなど、市民、行政との協働により、地域の環境美化やごみ減量・再資源化を推進しています。

(2023(R5)年度 282名委嘱)

(15) 小型家電リサイクルへの参加について

小型家電リサイクル法の認定事業者であるリネットジャパンリサイクル(株)と「小型家電等宅配便回収の連携に関する協定」を締結し、使用済みとなった小型家電(パソコン、携帯電話など)の再資源化に努めています。

	2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2023(R5)年度 (12月末現在)
申込件数	148件	184件	127件	96件
回収量	1,789.2kg	1,957.4kg	1,498.0kg	1,008.3kg

(16) コンタクトレンズ空ケースのリサイクルについて

コンタクトレンズ空ケースの再資源化事業を行うHOYA(株)アイケアカンパニーと、「コンタクトレンズ空ケースの回収に関する協定」を2024(R6)年3月1日に締結し、使用済空ケースの再資源化に努めていきます。

7 2024 (R6) 年度一般廃棄物処理実施計画



(1) 一般廃棄物処理基本計画における基本方針

基本方針

- 1 排出抑制を最優先にした、ごみの減量化・再資源化の促進
- 2 ごみの適正処理の推進
- 3 計画的な施設整備の推進

(2) 一般廃棄物処理基本計画における方策

行政の役割	市民の役割	事業者の役割
ごみの排出抑制と減量化の方策 (リデュース・リユース)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供と市民協働推進体制の整備 ・ 意識啓発活動の推進 ・ 減量化事業の推進 (電動生ごみ処理機等設置奨励金支給事業、フードドライブ事業) ・ 詰替商品等の利用促進 ・ 適正処理の推進 (ごみステーション施設設置事業費補助事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使い捨てライフスタイルの転換 ・ ごみ出しマナーの遵守 ・ ごみの分別収集への協力 ・ マイバッグの利用 ・ 生ごみの水切り ・ 食べ残しを減らす ・ フードドライブへの参加 ・ リサイクルショップの活用 ・ 修理して使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己処理の推進 ・ 従業員教育の徹底 ・ 過剰包装の防止 ・ 各種リサイクル法等の遵守 ・ ペーパーレス化 ・ 食品廃棄物の減量
再生利用の方策 (リサイクル)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生処理ルートの確保 ・ 分別品目の拡充 ・ 集団資源回収の推進 (資源回収実施団体奨励金等支給事業) ・ 再生商品の利用促進 ・ 小型家電リサイクルの推進 ・ コンタクトレンズ空ケースリサイクルの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家処理の実施(生ごみの堆肥化等) ・ 集団資源回収への協力 ・ 再生商品の積極的利用 ・ 小型家電リサイクルへの協力 ・ コンタクトレンズ空ケースリサイクルへの協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生利用等を念頭に置いた製造・販売 ・ 再生商品の積極的利用 ・ 回収ルートの確保 ・ 食品廃棄物の再資源化

(3) 一般廃棄物の処理主体と処理計画

廃棄物の種類	収集・運搬の主体	中間処理		最終処分	
		主体	処理方法	主体	処理方法
可燃ごみ	市(委託)、排出者又は許可業者	組合	焼却	組合	埋立て
		許可業者	堆肥化・RPF化 (事業系)	—	
不燃ごみ	市(委託)、排出者又は許可業者	組合	破砕、可燃残渣焼却	組合	埋立て
粗大ごみ	市(委託)、排出者又は許可業者	組合	破砕、可燃残渣焼却	組合	埋立て
資源物	市(委託)、排出者又は許可業者	組合	資源化	—	

(4) 収集運搬計画

ア 市が収集・運搬するごみ

市が収集・運搬するごみは、一般家庭から排出されるごみです。次表のとおり分別して収集・運搬するものとします。

廃棄物の種類			廃棄物の具体例	
可燃ごみ			生ごみ、ゴム製品、プラスチック類、ビニール類、剪定枝、皮革製品、その他燃えるもの	
不燃ごみ			耐熱ガラス、電球、蛍光管、乾電池、アルミホイル、化粧ビン、陶磁器類、燃料灰、その他燃えないもの	
資源物	びん類	白びん	ジュースびん等	
		茶びん	ドリンクびん等	
		その他のびん	ウイスキーびん、油びん等	
①	金属類		スチール缶、アルミ缶、なべ、やかん等	
資源物②	ペットボトル		ジュース、お茶、しょうゆ、焼酎等	
	その他のプラスチック		食品トレイ、たまごパック、いちごパック等	
	古紙類	紙パック		牛乳パック等
		段ボール		段ボール
		古新聞		古新聞
雑誌類等		雑誌、広告類、包装紙、紙箱等		
粗大ごみ			自転車、たんす、机、布団、カーペット、ベッド、その他 (大きさが概ね 60 cm以上で、日常生活から生じたもの)	

イ 市が収集していないごみ

(ア) 事業所(商店、工場、農業など)から出るごみ

(イ) 自動車、バイク、タイヤ、バッテリー、ピアノ、ガスボンベ等処理が困難なごみ

(ウ) 家電4品目(テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫、エアコン)

(エ) 一度に多量に出るごみ(引越しごみ等)

ウ 収集運搬業務

民間業者(6社)に委託して家庭系ごみを収集します。収集車両は次表のとおりです。

区分		車種	積載量	台数
須賀川地域	可燃ごみ	パッカー車	4 t	2台
			2 t	11台
		平ボディ車	2 t	1台
	資源物① (金属類)	パッカー車	2 t	9台
	資源物① (びん類)、不燃ごみ	平ボディ車	2 t	11台
	資源物②	平ボディ車	2 t	11台
	粗大ごみ	パッカー車	4 t、2 t	13台
平ボディ車		2 t	11台	
長沼地域	可燃ごみ	パッカー車	4 t	1台
			2 t	2台
	資源物① (金属)	パッカー車	2 t	2台
	資源物① (びん類)、不燃ごみ	平ボディ車	2 t	3台
	資源物②	平ボディ車	2 t	5台
粗大ごみ	平ボディ車	2 t	4台	
岩瀬地域	可燃ごみ	パッカー車	2 t	3台
	資源物① (金属)、不燃ごみ	パッカー車	2 t	3台
	資源物① (びん類)	平ボディ車	2 t	2台
	資源物②	平ボディ車	2 t	7台
	粗大ごみ	平ボディ車	2 t	4台

エ 収集回数及び収集方法等

(ア) 家庭系ごみ

区分	須賀川地域	長沼地域	岩瀬地域
収集ごみの区分	可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、粗大ごみ		
住民周知方法	ごみカレンダー、ごみ分別一覧表、市広報、ホームページ、ラジオ、ごみ分別アプリ (～2023(R5)年度)、市公式 LINE (2023(R5)年度～)		
可燃ごみ袋の指定	透明、半透明の袋		
排出時間	午前 6 時から 8 時 30 分	午前 6 時から 8 時	
収集方法	集積所(ステーション)方式		
集積所数 (R5.12 月末現在)	1,332 ヶ所	58 ヶ所	72 ヶ所
分別用収集用具	折りたたみ式コンテナ(5 種類)、ネットスタンド	コンテナ 5 種類、ネットスタンド 2 種類	コンテナ 5 種類、ネットボックス、ネットスタンド
粗大ごみ収集方式	戸別収集方式	ステーション又は戸別収集方式	

区分	須賀川地域	長沼地域	岩瀬地域
収集頻度	可燃ごみ	週 2 回(東山地区は週 1 回)	
	不燃ごみ	月 3 回(東山地区は月 2 回)	
	金属	月 3 回(東山地区は月 2 回)	
	びん	月 3 回(東山地区は月 2 回)	
	ペットボトル	月 2～3 回(東山地区は月 2 回)	
	その他プラ	月 2～3 回(東山地区は月 2 回)	
	古紙類	月 2～3 回(東山地区は月 2 回)	
	粗大ごみ	戸別収集:随時	ステーション収集:月 1 回、戸別収集:月 1 回

(イ) 事業系ごみ

廃棄物の種類	収集回数	収集方法
可燃ごみ	必要の都度搬入	許可業者又は自己搬入
資源物	必要の都度搬入	許可業者又は自己搬入

参考資料

(1) 須賀川地方保健環境組合一般廃棄物処理施設の概要

ア ごみ焼却施設

所在地	須賀川市森宿字ビワノ首地内
処理能力	95t/24h (47.5t/24h×2基)
処理方式	ストーカ方式
炉形式	連続燃焼式焼却炉
使用開始年月日	2019(R1)年3月
敷地面積	24,412m ²
建築面積	2,942m ²
建築延床面積	5,494m ²

イ 資源物ストックヤード施設

・ペットボトル、トレイ

所在地	須賀川市森宿字ビワノ首地内
ストック容量	210m ³
ペットボトル減容機	処理能力 500kg/時間
使用開始年月日	2000(H12)年3月
敷地面積	24,412m ²
建築面積	369.36m ²

・古紙、乾電池、蛍光管

所在地	須賀川市森宿字ビワノ首地内
ストック容量	約540m ³
使用開始年月日	2021(R3)年4月
敷地面積	24,412m ²
建築面積	420m ²

ウ 最終処分場

所在地	須賀川市森宿字ビワノ首地内
埋立方法	サンドイッチ工法
埋立面積	19,200m ²
埋立容量	140,800m ³
埋立開始年月日	2000(H12)年8月

所在地	須賀川市西部地区
埋立方法	サンドイッチ工法
埋立面積	11,200m ²
埋立容量	70,000m ³
埋立開始年月日	未定 (2024(R6)年5月完成予定)

(2) 本市の許可業者一覧 (2024 (R6) 年度許可予定業者)

(2年更新)

一般廃棄物収集運搬業 (ごみ) (18社)			
許可番号	所在地	社名等	代表者名
第 1 号	須賀川市滑川字十貫内 10 番地	須賀川環境整備㈱	代表取締役 佐藤徹也
第 2 号	須賀川市吉美根字土橋 396 番地	福南環境整備㈱	代表取締役 村越裕一
第 3 号	須賀川市横山町 70 番地	須賀川陸運㈱	代表取締役 水野真宏
第 4 号	須賀川市八幡山 153 番地	㈱鑛エスアール工業	代表取締役 小野寺美樹
第 6 号	須賀川市狸森字北向 110 番地	㈱熊田商店	代表取締役 熊田善友
第 7 号	須賀川市加治町 4 番地 6	㈱丸正	代表取締役 江幡正孝
第 8 号	鏡石町成田 332 番地	(有)東北資源	代表取締役 根本吉和
第 9 号	須賀川市森宿字道久 19 番地 13	㈱ひまわり	代表取締役 佐藤靖志
第 10 号	須賀川市森宿字館ノ下 32 番地 1	㈱アメ商百貨店	代表取締役 佐久間康弘
第 11 号	須賀川市森宿字関表 90 番地 18	㈱アセス東北	代表取締役 阿部長吉
第 12 号	須賀川市中宿 388 番地	西間木建材㈱	代表取締役 西間木優子
第 13 号	須賀川市榊衝字薊内 10 番地	㈱サニー・クリエーション・プランニング	代表取締役 栗屋正和
第 14 号	郡山市三穂田町鍋山字前原 1 番地の 335	(有)前原産業	代表取締役 須賀弘
第 17 号	須賀川市堀込字浦通南 20 番地 2	太田産業㈱	代表取締役 太田敏夫
第 18 号	天栄村大字牧之内字郷戸 17 番地	(有)黒澤コーポレーション	代表取締役 黒澤幸司
第 19 号	須賀川市梅田字鍛冶前 22 番地	(有)八幡工業	代表取締役 熊田和樹
第 20 号	須賀川市小倉字牡丹平 135 番地 23	㈱平和物産	代表取締役 荒川健吉
第 22 号	郡山市安積一丁目 158 番地の 2	(有)小林ラヂエター商会	代表取締役 小林進

一般廃棄物処分業 (2社)			
許可番号	所在地	社名等	代表者名
第 24 号	須賀川市小倉字牡丹平 135 番地 23	㈱平和物産 (有機性廃棄物堆肥化)	代表取締役 荒川健吉
第 25 号	須賀川市榊衝字薊内 10 番地	㈱サニー・クリエーション・プランニング (木製パレット、古畳)	代表取締役 栗屋正和

一般廃棄物収集運搬業 (し尿) (6社)			
許可番号	所在地	社名等	代表者名
第 1 号	須賀川市森宿字道久 19 番地 13	㈱ひまわり	代表取締役 佐藤靖志
第 2 号	須賀川市南町 49 番地 1	松宮㈱	代表取締役 松宮秀泰
第 3 号	須賀川市千日堂 126 番地 15	(有)須賀川環境エンジニア	代表取締役 西間木伸一
第 4 号	須賀川市池ノ下町 11 番地 3	クボタ環境衛生㈱須賀川支店	代表取締役 小野寺仁
第 5 号	鏡石町諏訪町 74 番地 1	(有)吉田総業	代表取締役 吉田孝行
第 6 号	須賀川市千日堂 126 番地 15	須賀川地方クリーン事業協同組合	代表理事 小野寺仁

一般廃棄物収集運搬（ごみ・荷おろしのみ）				(5社)
許可番号	所在地	社名等	代表者名	
第 26 号	鏡石町諏訪町 7 4 番地 1	(有)吉田総業	代表取締役 吉田孝行	
第 27 号	郡山市亀田一丁目 5 1 番 5 号	(有)ミナミスポーツ企画	代表取締役 藤島壽	
第 28 号	天栄村大字下松本字畑中 3 番地 1	(有)天栄クリーン	代表取締役 芳賀孝夫	
第 29 号	仙台市青葉区郷六字庄子 3 9 番地 1	(株)ネクスコ・メンテナンス東北	代表取締役 春山和彦	
第 30 号	大沼郡金山町大字大塩字荻ノ瀬 229 番地 2	大滝興業(株)	代表取締役 滝沢和志	

一般廃棄物収集運搬（し尿・荷おろしのみ）				(1社)
許可番号	所在地	社名等	代表者名	
第 7 号	南会津郡南会津町塩江字根岸 14 番地 2	白俱善環興(株)	代表取締役 猪股宏光	